

# ごみゼロ新聞

発行／津山市ごみゼロ新聞編集委員会 TEL／0868-32-2203

## 集めた古着類のゆくえ

知っていますか？



集められた古着類が、その後どのようにリサイクルされているかご存じですか？

古着類は、まずはリサイクルできないもの（下着や靴下、汚れがあるものなど）を取り除かれて、資源回収業者に引き渡されます。

※ 資源回収業者のもとでさらに選別され、輸出業者に引き渡されたり、ウエス原料や反毛原料としてリサイクルされています。

運び出された古着類のうち、約半分はそのまま古着として再利用、約半分はウエス原料、反毛原料として再生され、少量は破棄されています。

※ウエス…機械類の油を拭き取るために用いられる布のこと。

反毛…古着類などの繊維製品を、専用の機械を使って、もとの綿や毛状のものに戻したもの。車の内装のフェルトや、カーペットなどに使われる。



6月1日から

市役所の 加茂支所・勝北支所・久米支所での

**古着類の回収が中止になっています！**

回収された古着類は、資源回収業者の倉庫で保管される物、海外へ輸出される物がありますが、現在、新型コロナウイルスの影響でこの輸出が止まり、古着類の引取先がないため、これ以上の収集が中止となっています。

7月1日から、レジ袋の有料化がスタートしました。  
ごみゼロ新聞編集委員会では、レジ袋の有料化がスタートした直後の市内の  
スーパーマーケットやコンビニ、ホームセンター等に取材を行いました！  
今回は、お店でお聞きしたことを整理して皆さんにお伝えします。

### 質問1 トラブルはありましたか？

最初のころは、ホームセンターも有料化の対象であることを知らない人もいたよう  
です。ただ、そうした人も日がたつにつれていなくなったそうで、調査したすべて  
のお店で、大きなトラブルはありませんでした。



レジ袋と言えば、コンビニやスーパーのことだけだと思った人も多いかも。  
僕も、薬屋さんに行ったときに、袋が有料でびっくりしたよ。

特にトラブルがなかったのは、  
テレビや雑誌、新聞などで話題になっていたのはもちろんのこと、  
お店の方でもお知らせをしていたことが良かったのかしら。



### 質問2 どれくらいの方が、レジ袋を辞退しているの？

コンビニでは半分くらい、スーパーマーケットやホームセンターでは8割から9割  
くらいの方がレジ袋を辞退しているようです。



お店によっては、ほとんどの人がレジ袋を辞退しているんだね！

お店の人によると、辞退した人の多くは、マイバッグを持参している  
ようです。買う商品の数が2、3個程度だったりすると、  
マイバッグを持っていなくても、レジ袋は辞退して  
手で持って帰る人も多いらしい。



レジ袋を購入するのは、どんな時が多いのかな？

お弁当だけや、ジュースを1本だけ買う時に多いようです。





晩ご飯の材料や生活雑貨を買いに行く時は、買い物に行くぞ！と思って家を出るからマイバッグを持って行くけれど、何かのついでにジュースを  
買おうという時は、確かにマイバッグを持ってないことが多いかも…

今回取材したスーパーでは、レジ袋有料化後は、お店に置いてある段ボール箱を利用するお客さんが増えるだろうと思っていたお店が多かったけれど、実際に段ボール箱を利用するお客さんが増えたお店と、逆に減ったお店がありました。



### 質問3 レジ袋有料化後、困っていることはありますか？

お店の人も、予想していたよりも困ったことやトラブルがなくて驚いていました。強いて言うなら、有料化の開始前後で多くの方がマイバッグを購入したため、レジに置かれた買い物かごの中にマイバッグが入っていた時に、お客さんが持参したマイバッグなのか、今回購入しようとしているマイバッグなのかわかりづらいことがあったという話がありました。

有料化直後は特に、まだ新品同然のマイバッグを使っている人も多かったから、わかりづらかったのでしょう。



家から持ってきたマイバッグは、買い物かごには入れずに、手に持つなどしておいた方が、お店の人にはわかりやすいですね。

今回の取材を通して印象に残ったのは、お店の人が口々に、大きな問題は起きてないよ、とおっしゃっていたことです。始まる前はお店の皆さんも身構えていらっしまったと思いますが、良い意味で予想が外れて、皆さんもほっとしておられるようでした。



プラスチックごみの問題や海洋ごみの問題の解決に向けて、ほんのまだ一歩だけれど、前進したのかな！  
この調子で、みんなで環境問題の解決に向けて頑張っていかないとね！

## 使い捨てマスクのポイ捨てはやめよう!!

「使い捨てマスクは紙で出来ている」と思っていませんか?

最近使用する機会が何かと多い使い捨てマスクですが、外を歩いていると道端に落ちているのを見かけることがあります。普通のごみなら拾ってごみ箱に捨てようかと思うこともありますが、新型コロナウイルスの問題もあり、触るのをためらってしまいます。そんな使い捨てマスクですが、原材料の表記を見てみると・・・「ポリプロピレン」や「ポリエステル」、「ポリエチレン」などと書かれています。またあるものには「ポリプロピレン不織布」と書いてありました。何種類も見てみましたが、「紙（パルプ）」と書かれたものはなかなか見つけれられません。

使い捨てマスクの中で一般的に多く使われている**不織布マスクは、プラスチック製品**なのです。自然に分解されることはありません。

他人の使用済みマスクは、なかなか触りづらいごみでもあるので、ポイ捨てしないで、**燃えるごみとして処分しましょう。**



マスクとトイレトペーパーの原材料が同じだというわさが流れたことがあったけど、全くの別物ね  
デマに惑わされないようにしないと!

## 感染防止のための 使い捨てマスクの正しい捨て方

～うつらない、うつさないために～

- ① マスクを取るときは、ひも部分を持って外す。  
(表面には触れないようにする。)
- ② ポリ袋などに入れしっかり密封する。
- ③ マスクが入ったポリ袋を「津山市指定のごみ袋」に入れて、しっかりしぼる。  
(あとはしっかり手洗いをしましょう!)

そして・・・**マスクのポイ捨ては 絶対禁止!!**です。

## お願い

### スプレー缶は資源ごみへ!

不燃ごみにスプレー缶が入っていると、回収されず残されてしまいます。スプレー缶は錆びたり汚れたりしていても、不燃ごみには入れず、資源ごみの「缶」に出してください。(中身は使い切ってください)

(ジュースやお菓子の缶などは、きれいなものは資源ごみ、汚れが取れないものは不燃ごみに出してください)

ごみゼロ新聞へのご意見・  
ご要望をお寄せください。

『津山市ごみゼロ新聞編集委員会』

津山市環境事業課3R推進係 Tel 32-2203 Fax 23-7055

E-mail: gomizero@city.tsuyama.lg.jp

